

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	管理者が職員と密接なコミュニケーションを図るとともに、「気づきノート」の作成によって事業所の一体感が高まっています
	内容	理事長や管理者が毎日の振り返りや職員会議で理念の浸透や支援についてのアドバイスをを行うことで、職員間の意識の共有や一体感が高まりました。特に、誰もが自由に記入できる「気づきノート」では日常の情報共有のほかに、意見や悩み、提案などが記入され、職員同士の横のつながりが強化されています。「気づきノート」に書けない内容も直接管理者に相談できる環境が整っている」という職員の自由意見にもある通り、縦のつながりも強化されて事業所の一体感は今以上に高まっています。
2	タイトル	マルシェの開催で、地域交流と障害者理解を実践しています
	内容	事業所では、「言葉・生活・工芸」を柱に療育的立場から「地域・家庭・施設」が一体となり利用者一人一人を大切に、地域の中で自分らしく生きていただき、毎日楽しく通所していただくことを理念に掲げ、地域交流の機会として作業所と協力してマルシェを開催しています。法人が、地域に根ざした開かれた施設にすること、障害者理解をさらに進める目的で、施設の外にのぼり旗を立てて、近隣住民を迎えています。中では、利用者が活動しており、ふれあいの場になっています。広報活動もすすめ、地域の理解を得るための活動を実践しています。
3	タイトル	開放的な施設運営や、他施設との連携に取り組んでいるので、さらに踏み込んで地域共生社会実現に向けた拠点となることが期待されます
	内容	施設を開放して実施するマルシェは、社会課題である孤立を回避するための居場所づくりや、地域社会の多様性の受容につながるものと考えます。また利用者の健康管理における介護施設との連携は、福祉施設の地域社会での存在の強みを示すものではないかと思えます。障害者などの多様な人のあり方を排除しようとする流れに抗して、誰もが自分らしく生きられる地域社会をつくるために、これからも積極的に地域との関りを深めていただくことを期待します。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	事業計画の進捗を確認するための、わかりやすい指標の作成が待たれます
	内容	当事業所では、3年間の中期事業計画や単年度の計画を作成していますが、進捗管理のための指標の工夫が必要と感じています。進捗の見える化は、職員が進むべき方向性を実感したり、利用者やそのご家族の安心感にもつながることが推測されます。ひいては地域の皆さんの事業所理解や他事業所との連携・協働にも大変有効かと思われます。毎年のブラッシュアップを想定し、まずはできるところからの工夫を期待しています。
2	タイトル	個別支援マニュアルの策定と、職員会議の工夫で業務水準向上が期待されます
	内容	個別支援計画は、毎日の振り返り、気づきノート等により、職員や利用者家族等からの意見や提案を反映して、支援会議にて見直しが随時おこなわれています。この進め方は職員のアンケートに、「意見が出しやすい」、「気づきノートで全職員の意見共有が図れている。」という記載で意見反映が確認出来ました。事業所は入所前の療育の継続を大切にしており、個別支援計画作成の経緯、個々の支援の進捗を盛り込んだ個別支援マニュアルの作成中です。さらに、非常勤職員の会議参加による職員全体周知で、事業所の標準的な業務水準向上が期待されます。
3	タイトル	地域人材を掘り起こすことで、長期に継続できる安定した支援環境をつくることが期待できます
	内容	新設のグリーンハウス1は地域に開かれた構造で、地域住民を呼び込み、共生社会実現に向けた地域ニーズにこたえる可能性を持っています。グリーンハウス2の建て替え計画も進んでいるので、今後はますます、共生社会実現の拠点として、社会的な役割を期待されるようになるかと思えます。積極的に地域社会と関わり、事業所として地域づくりに取り組むことで、ボランティアや非常勤などの地域人材の掘り起こしをすすめ、小規模事業所としての職員配置上の不利(弱み)を乗り越える事業環境をつくることが期待されます。